

『初めての臨床歯科技工基礎講習会（デンチャースターター6回コース）』

講師 平栗扶美

抄録

有床義歯の初学者やブランクがあった者にとって何が分かっているのか、分からないのか不明であることが多い。一言で言うて“分からないこと”が分からないのだ。

今回の基礎講習会では、初めに各人の自己分析から着手することによって、6か月間の基礎講習会を通してのビフォーアフターを明確にする。

実際の内容としては、義歯製作で必要な用語や材料の取り扱いなど実習体験を通して思い出し、また新たに習得することを目的とする。

---

第1回6月18日

イントロダクション。各人の自己分析、チェック表を作成する。持参した各人の歯型を用いて規格模型を製作する。

目的：規格模型の考え方の習得

第2回7月30日

無歯顎者の臨床模型を使用して規格模型に調整する方法を習得。

目的：解剖学的な所見を身に付ける。

第3回8月20日

台形法による模型分析の習得無歯顎者ならびに自身の模型を用いて個人トレーを製作。

目的：人工歯排列に必要なガイドラインならびに正確な印象採得に必要なトレー設計の習得

第4回9月24日

自身の歯型模型と個人トレーを用いて印象採得並びに複模型の製作。複模型上で抜歯、パーシャルデンチャーの設計概念と基礎床製作

目的：アルジネート印象材の取り扱い並びに欠損補綴の設計概念の理解。

第5回10月22日

パーシャルデンチャー模型の咬合器付着、人工歯排列、削合。

目的：台形ガイドライン（ニュートラルゾーン）と残存歯列について理解

第6回11月19日

パーシャル模型を用いて、パラタルバー、リングルバーのトライアルプレートをおストロンで製作、自身の口腔内に装着して発音や嚥下などの疑似体験レポート作成する。

目的：補綴装置は生体に調和して機能することの体験を通して理解する。